




收受年月日	議長	事務局長	書記
27.2.23			
第168号			

様式 2

議員派遣報告書

平成 27 年 2 月 23 日

埴町議会議長 様

派遣 議員(報 告議員)	鈴木道男 藤田恵二 藤田高志 吉田克則 鈴木 茂 小峰由久 鈴木孝則 鈴木幸江 小貫初枝 割貝寿一 大縄武夫 小林達信 藤田一男		
出席者 等	別紙		
派遣 目的	八溝山周辺地域定住自立圏シンポジウム参加のため		
派遣日 時	平成 27 年 2 月 20 日 13:00~15:30	派遣先 (場所)	栃木県大田原市
内容	人口減少と超高齢化社会に備えてという演題で 元総務大臣 増田寛也氏が基調講演。その後パネルディスカッションが行われた。別紙概要参照		

研修報告書

八溝山周辺地域定住自立圏シンポジウム

平成27年2月20日

人口減少と超高齢化社会に備えて 講師 増田 寛也 氏

人口減少は減少率は下げ止めの可能性はあるが流れは止められない。高齢化はもちろん止めることは不可能。前者においては人口は減少するが0にはならないし都市も消滅しない。ど田舎の自治体でさえ細々と生き残ると思う。人口が増える自治体は黙っていても何もしなくても増える。各自治体が金をばらまき少ないパイを奪い合いするのは愚の骨頂で減少を前提にした無理のない長期計画を策定するのが現実的かと思う。一言でいえば1次2次3次産業に限らず仕事があれば人は集まる。それと仕事に対する意識改革が必要。きつい汚い危険な私の従事する林業のような仕事ならば埒町にもたくさんある。後者については風邪で頭痛がひどかったため記憶にありません

3月1日

鈴木孝則

調査・研修等報告書

氏名	鈴木 幸江	提出年月日	平成27年 2月24日
視察等名称	研修 八溝山周辺定住自立圏シンポジウム		
調査等日時	平成27年 2月20日(金) 13:30 ~ 15:30		
調査等の内容	基調講演「人口減少と超高齢化社会に備えて」 講師 増田 寛也 氏 パネルディスカッション コーディネーター 佐藤 啓太郎 氏 パネラー 増田 寛也 氏 越石 直子 氏 津久井 富雄 市長		
意見	<p>○基調講演 人口問題に関し資料により講演された。さらに、国の長期ビジョンと総合戦略の説明とともに地方版総合戦略の考え方、進め方等講話された。 埴町版「総合戦略」策定となる。キーポイントとなる方程式、参考にしたい。</p> <p>地域力向上の方程式 [地域力=人材力(ヒト)+資源力(モノ)+情報] 人材力=(能力×やる気)+つながり力(ネットワーク) 資源力=(天然・自然由来のもの)+歴史・文化・伝統 情報=物語力</p>		
感想	<p>○ パネルディスカッション 少子化・高齢化による人口問題、仕事と家庭(子育て)の両立、健康寿命、雇用等々諸問題、行政の政策等がそれぞれのパネラーより提起。産・学・民の連係による経済の活性化(地域資源・人材の活用)と行政の関わり・関わり方等意見を拝聴。 最後に増田氏より「若者と女性の声を、いかに反映させ実行していけるか試される時代である。広域の効果が得られるよう行政を進めるかに期待したい。」と結ばれた。 八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョンを改めて見直してみたいと思う。</p>		